

常務理事会

(第45事業年度・第1回

平成22年4月13日常務理事会)

主な議事内容は次のとおりです。

審議事項

1. 中小事務所等施策調査会からの答申『「中小企業の会計に関する指針」の一部改正について』に関する件

各種の企業会計基準に対応した見直し等を行うため、「中小企業の会計に関する指針」を一部改正した旨提案があり、審議の結果、提案どおり承認された。

2. 経営研究調査会からの答申に関する件

(1) 経営研究調査会研究報告「排出量取引制度における排出量情報の信頼性確保に関する提言 検証制度の枠組みについて」について

(2) 経営研究調査会研究報告「上場会社の不正調査に関する公表事例の分析」について

温室効果ガスの排出量取引の整備を図るとともに、排出量情報の信頼性を確保するため、温室効果ガスの排出量取引制度等について、経営研究調査会研究報告第39号「排出量取引制度における排出量情報の信頼性確保に関する提言 検証制度の枠組みについて」として取りまとめた旨、また、公認会計士が社内調査委員会の委員や補助者あるいはアドバイザーとして不正調査業務に関与したり、外部調査委員会の委員として社内調査委員会の調査を監視・監督する業務を要請された場合の参考に資するため、経営研究調査会研究報告第40号「上場会社の不正調査に関する公表事例の分析」として取りまとめた旨それぞれ提案があり、審議の結果、提案どおり承認された。

3. 公会計委員会からの答申に関する件

(1) 国際公会計基準審議会討議資料「公共財政長期持続可能性報告」に対するコメントについて

(2) 『「独立行政法人会計基準」及び「独立行政法人会計基準注解」に関するQ&A』の一部改訂について

平成21年11月に国際会計士連盟(IFAC)から公表された『国際公会計基準審議会討議資料「公共財政長期持続可能性報告」』に対する協会意見を取りまとめた旨、また、「独立行政法人会計基準」及び「独立行政法人会計基準注解」が改訂されたことを受け、『「独立行政法人会計基準」及び「独立行政法人会計基準注解」に関するQ&A』を一部改訂した旨それぞれ提案があり、審議の結果、提案どおり承認された。

理事会

(第45事業年度・第1回

平成22年4月14日理事会)

主な議事内容は次のとおりです。

会長報告

増田会長から配付資料に基づき、公認会計士試験制度を巡る問題への対応、日本税理士会連合会「税理士法改正に関するPTによるタタキ台」に対する意見、次期会長の決定、IFRSに関するパンフレットの作成、公認会計士制度60年史 最近の10年の完成、第18回世界会計士会議の案内等、最近の事業及び会務の運営状況について、会則第95条に基づく報告があり、協議を行った。

審議事項

1. 倫理委員会からの答申『「倫理規則」の一部改訂について』に

関する件

平成21年7月に国際会計士連盟(IFAC)から「Code of Ethics for Professional Accountants」の改正が公表されたことを受け、「倫理規則」を一部改訂する旨提案があり、審議の結果、提案どおり承認された。

2. 総務委員会からの答申に関する件

(1) 税理士登録を行っている会員の組織化のための会則等の一部変更について

(2) 綱紀審査会運営細則の一部変更について ほか2件

税理士登録会員を組織化し、適宜適切な情報、サービスを提供していく体制を構築するため、税理士登録を行っている会員の組織化のための会則等の一部変更する旨、また、綱紀審査会の調査班が行う事情聴取手続の体制整備を行うため、綱紀審査会運営細則を一部変更する旨それぞれ提案があり、審議の結果、提案どおり承認された。

報告事項

1. 公認会計士試験制度等に対する要望に関する件

公認会計士試験制度見直し及び日本公認会計士協会の自主規制機能強化に向けた要望について、公認会計士試験制度等に対する要望として取りまとめた旨報告があった。

2. 第19回役員選挙に伴う当選者会議の結果に関する件

平成22年4月6日に第19回役員選挙に伴う会則第86条に定める当選者会議を開催し、山崎彰三候補者が出席者の過半数を超える信任により、次期会長に決定した旨報告があった。

3. IAASBニューヨーク会議報告に関する件

平成22年3月15日から19日にかけてニューヨークにおいて開催された

IAASB会議について報告があった。

なお、その他の主な報告事項は次の
とおりです。

第38回日本公認会計士協会学術賞
授賞作品に関する件
ハイチ大地震救援募金の集計結果
に関する件

以 上

(総務本部長 柏原 治)